

令和7年  
秋号No.  
172

新潟県の人口

総人口

世帯数

令和7年8月1日現在  
2,074,203人  
(対前月1,466人減)  
921,496世帯  
(対前月65世帯増)

※県庁への郵便物は、「〒950-8570新潟県庁○○課」で届きます。

2025年10月13日発行(年4回)

発行・編集 / 新潟県広報広聴課  
新潟県ホームページ  
<https://www.pref.niigata.lg.jp>  
新潟市中央区新光町4番地1  
TEL025-285-5511(代)

# 棚田、日本一。 原風景を未来につなぐ

棚田ひでよ

棚田みらいちゃんの親戚のおじさん。「棚田県」の知事として、「棚田県」をPRしている。

棚田みらいちゃん

カエルの格好をして各地の棚田で活動中。おでんばで、おませな小学3年生(9歳)だが、本気モードになると「ガチみらいちゃん」(20歳)に変身する。

棚田って  
なあに?山の斜面や谷間の傾斜地に作られた  
階段状の田んぼだよ。【国・県による定義】  
地形勾配が1/20以上の地域の農地例: 20m進むと  
1m高くなる

— 20m —

新潟県は  
「棚田県」!新潟県は農林水産大臣が認定した「つなぐ棚田遺産」の数が  
36(全国の認定数271)で全国最多、棚田の面積も日本一!つなぐ棚田遺産  
とは…新潟県に棚田が  
たくさんあるのは  
なぜ?中山間地域の面積が7割を占める新潟県。  
その昔、人々は程よい山裾に集落を形成し、暮らし始めたようだよ。  
先人の営みを受け継ぎながら美しい風景と米作りを  
守り続けているんだよ。

## 棚田地域の持続的発展に向けて

本県は、棚田の面積が全国で最も広く、農林水産大臣が認定した「つなぐ棚田遺産」の数も全国一位であることから、「棚田日本一」を自負しているところです。

棚田は美しい景観だけでなく、歴史や文化とも深く結びついています。例えば、佐渡では、金銀山の発見により人口が急増した際、食糧確保のために棚田の開発が進みました。こうした背景が、棚田を本県の魅力あるコンテンツの1つにしています。

一方で、棚田地域を維持・保全する担い手不足が深刻化しています。本県の水田の約1割は急傾斜地にあり、棚田地域を守り続け、その持続的発展を図ることは、本県の農業を守り、県民や国民の食を守るためにも欠かせません。

そこで、「棚田日本一」の機運を盛り上げ、棚田地域の振興につなげていくため、県では、今年度を「にいがた棚田みらい元年」と位置づけ、棚田の魅力を発信し、交流人口の拡大を目指す取組を開始しました。これまでの企業や学生ボランティアが中心となった「棚田みらい応援団」による保全活動に加え、今年度からは、個人参加方式の「ガチ棚」の活動も始まり、ハードな草刈り等にも取り組んでいただいている。

今後も、棚田のポテンシャルを活かした地域外との交流を活性化させることで、棚田の維持保全と地域の持続的発展につながる施策を展開してまいります。県民の皆様には、ぜひ棚田に関心を寄せていただき、実際に足を運び、新潟の誇るべき価値に触れていただきたいと思います。



新潟県知事 花角英セ



# みんなで棚田を守ろう／どうなる？にいがたの棚田のみらい

~将来にわたる棚田の維持保全や地域の持続的発展のための取組を始めています~



## 棚田にはどんな役割があるの？

### 農業生産の場

- 一般的に水源が近くにあり、標高が高く、昼夜の寒暖差が大きいため、おいしいお米の生産に適しています。



### 美しい景観や伝統文化の保全

- 棚田は、安らぎを与える我が国の原風景であるとともに、先人達の築いた歴史・伝統文化を守り伝えています。



### 生物多様性の保全（生態系の保全）

- 棚田には多様な生物が生息しており、環境を維持することにより、豊かな生態系が保たれています。



### 土砂災害・洪水防止、水資源の保全

- 棚田を保全することで、土砂崩れの発生を抑制することができます。
- 降った雨は畑に囲まれた田んぼに一時的に貯留され、ゆっくりと浸透して地下水となり、下流地域の川の流れを安定させる働きがあります。



### でも…

棚田は道が狭くて機械が入らない、畦が急で草刈りが大変など農作業にとても手間がかかるのが特徴で、このような生産条件の厳しさや、農業者の減少・高齢化によって、荒廃の危機に直面しているんだ。棚田を保全する人材の確保が課題となっているよ。



### そこで…

未来に向かって、総力をあげて棚田地域の振興を図るために、県では令和7年度を「にいがた棚田みらい元年」として様々な取組をスタートさせたよ。

### 目指すみらい

県内外の方々が棚田の美しい景観やその背景にある歴史・文化に魅力を感じ、棚田地域で生活する方が棚田の価値を再認識することを通じて、棚田地域の交流人口の拡大、地域の活性化につなげる。



### ○にいがた棚田フォーラム

多様な主体が参画する場と、新潟県としての体制をつくり、皆さんと話し合いながら未来に向けて動き出しました。



### ○ブレリュードイベント 5月

世界農業遺産【棚田】と世界文化遺産【金山】の関わりなどをテーマに、佐渡市で「棚田みらい元年」が幕開け！



産学官それぞれの視点から、地域活性化に向けた棚田の魅力や連携可能性についてのディスカッションをしたほか、「無限界集落」歌見地区の皆さんによる踊りや、園児による和太鼓発表など、楽しいステージも実施。盛況となり、一体感のあるフォーラムの立ち上げとなりました。

### ○「棚田県にいがた」フォトコンテスト 6月～10月

棚田を主体とした風景、人々の活動の様子などをテーマに10月13日（月・祝）まで写真を募集中！審査結果は「にいがた棚田みらい創造会議」（11月に開催）で発表予定です。



## お出かけ イベント情報

### 「森の工作教室」、「園内自然ガイドツアー」

開園期間中(11月上旬まで)の土日祝日 ①開園期間中は無休  
②県立浅草山麓エコ・ミュージアム(魚沼市) ③025-793-7480

### 児童館まつり

11/1(土)、2(日)  
遊びの総合イベント 料金:体験ごとに異なる  
④こども自然王国(柏崎市) ⑤0257-41-3355



